滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

Telephone No. 29.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
...cts. per line. Postage Included.
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

一…
七八斗紙 一連 一…
一連紙 全 一圓…
一フールスカツプ 全 四圓
一中判洋紙 百枚 二圓
一半紙野紙 四十枚續 二十錢
一卷紙 十二四錢

一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一廚房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一紙…
一長火鉢 …八…二圓以上三圓五十錢
一箱火鉢 一對
一宜德火鉢 六圓以上九圓

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
横濱正金銀行牛莊支店
電話 百十番 支配人室 八番 事務室

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
山東丸 四月一日出發 大沽、芝罘、門司、神戸行
相模丸 四月十日發 大沽、芝罘、仁川、釜山 長崎、門司、神戸行
横濱丸 四月五日發 大沽、芝罘、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行 (電話廿六番)

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
潮州丸 門司 神戸行 四月四日着 仝七日出帆
代理店 東營口公園地横 ブッシュ兄弟商會 遠來洋行 (電話二十三)

瀛船出帆廣告
日之出丸 三月卅一日入港 四月三日門司、長崎行
摩耶山丸 四月二日入港 四月五日門司、神戸行
日海丸 四月二日入港
日勝丸 四月四日入港
錦龍丸 四月五日芝罘行
萬成源丸 四月五日 竜口、登州府
營口代理店 松茂洋行船舶部

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製造各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞此本十新到各種木料東洋炸子眞價實以應各主顧局急之需 國本主人啓

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印井切雜貨其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲綿布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋綫子洋襪鋪表貨物俱全而價値尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部
遣般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉市田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店一公

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麪糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪一船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼濱有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

保裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃(電話九十五番)
西義順棧內 西櫃(電話架設中)

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達)櫻花牌(諾和)百合花牌(利利)均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船

摩耶山丸 親朝丸 專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大機平昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全大有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街公荷
松茂洋行(電話五十二番)

三井

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近恕蒙各商光顧請駕臨是荷
電話 第六十六號 第九十一號

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地(靑堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
(電話百二十八号)

經理

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行

電話 第六十六號 第九十一號

東清鐵道 (周) 裕和盛運輸局

(電話八十一號)
任東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

營口商業學校招入學生

宗旨 造成辨公實業家
學額 五十名
學科 修身、漢文、詞章、習字、算術、圖書、地理、歷史、理化 商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語 體操
資格 十五歲以上文理明通者
學費 特免惟寄宿生自備饌資餘皆本校籌辦
入學 陰曆三月初一日
夜班 專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限
○欲覽各樣詳細章程可到本校索閱
本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成効茲因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生

丸重洋行

一、東淸鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ

右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許
營口西北街 丸重洋行 (電話一八番)
牛家屯亭車場構內(電話四六番)

秋田洋行

材木 荒物 販賣
營口永世街第一八四號平野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

三仁公司

税關手續
一 船舶代理
一 貨物取扱
一 委托販賣

幣公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依賴ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
綏定門街第五〇 營口英國領事館東首
三仁公司 (電話一五〇號)
小島榮歲

上海 中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙有彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江沿路五十一號門牌可也
中井洋行

加州組

自造 煉瓦 ●瓦 並に各種石材販賣
營口青堆子 加州組 (電話八十六番)

東洋號運貨局

本局新設新民府今經官准由新民府至奉天輕便鐵路開辦運貨凡鐵路運貨比之車運迅而廉衆人所知也本局所辦事宜誠實爲旨懇切受托童叟不欺且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨物多少論担算或論噸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客票本局亦可飭人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知
新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店
奉天 輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

太古輪船公司

啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告
營口 太古輪船公司

生徒募集

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口 瀛華實學院

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し儀に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口瀛華實學院

東京電報

●皇太子殿下行啓 皇太子殿下には生駒艦進水式御臨場の爲め四月一日東京御發車呉軍港へ行啓遊ばさるべし

●樺太漁權問題 樺太南部に於ける漁權問題に就き外務陸軍農商務の三省は目下協議進行中なり

●靑木大使の出發期 駐米靑木大使明三十一日出發赴任の途に就くべし

●義和宮御歸國 義和宮殿下には來る四月一日東京發歸國の途に上らるべし

●伊國皇族の來朝 伊國皇族二十九日横濱着四月一日御入京の筈なり

●觀兵式の參列者 靑山凱旋觀兵式には清韓兩國を始め各國東洋艦隊及び香港安南東京眞韮等より陪觀者鮮からす

●獨乙旗艦の回航 獨乙東洋艦隊司令長官は旗艦フユルスト、ビスマークにて近々上海より横濱に回航せん

●高千穗上海に入る 軍艦高千穗二十九日上海に入れり

(以上三月三十日發電)

北京電報

●英國公使の通告 英國公使は外務部に向ひ我軍艦潘陽湖に入り演習するとも天津條約五十二條により差閊無きことを豫め承知ありたしと通告せり

(三月三十日發電)

倫敦電報

●獨帝外遊の中止 獨國皇帝陛下はアルジエシラスに於けるモロツコ會議遷延の爲めに豫て仰せ出されたる地中海の遊航を御中止遊ばされたり

●モロツコ議會後聞 モロツコ會議に於て昨日の議事を終るに臨み同會議の議長ロモドバー侯は意思の疏通既に成れりと思考する旨を述へたり

(以上三月二十八日發電)

●ナイヤガラの保存 米國大統領ルースベルト氏は其議會に與へたる教書に於て米國政府は加奈太政府と條約の成立するを待たす速かに法律を設けてナイヤガラ瀑布の保存を期すへしと命したり

●社長の竊盜罪拘引 前紐育生命保險會社長パーキンス氏は竊盜罪を以て拘引されたり是れ同社長か曩に大統領選擧の際社金を支出して合衆黨(レパブリカン)の運動費を補助せしに由る猶同氏は大審院へ控訴手續中にて保釋されたり

(以上三月二十九日發電)

雜報

●樺太漁權の危機 樺太漁業權の危機に關し近日世論漸く勃興し來れるか如し之に就き直接利害關係を有する露國漁業者デンビーの如きは過般渡來し時の外相加藤氏により南樺太に於ける露人の漁業權は公法上當然保護せらるへきにより安心せよとの言質を得たるやに傳へられ、而して前外相掛冠後に於ける外務省の態度は依然として柔軟政策を改めす唯陸軍、農商務兩省の異議によりて決行を躊躇し居るもの丶如し、然るに漁業上の直接關係を有する農商務省は昨年漁業假規則發布の當時より頗る强硬なる意見を持し露人の漁業權は公法上の私有財產權にあらすとの說に一致し居れとも本省ソレ自身か勢力なきため大に外務省を轣轆して外權の侵害を防くなとは到底思ひもよらす唯陸軍省の不同意こそ最も有力に今日まで問題の命脈を保ち來れる所以なりといふ

●清國の新聞法 北京に於て目下制定に從事しつゝある新聞條例は左の條項を骨子としたる者なりと

一、各新聞は固より言論の自由を有するものなり
二、革命を唱道するを許さず
三、排外思想を鼓吹するを許さず
四、國家の機密を洩漏するを許さす
五、軍務機宜を豫め宣布するを許さす
六、平和を攪亂するの言論を掲載する許さす
七、新聞の主筆探訪は必す方正の士を聘傭すへし
八、濫りに人の名節を毀傷するを得す
九、新聞記事を以て脅迫强請するを許さす
十、凡そ新聞此の數者に違反する時は之を糾問し律に照して處分す云々

●清國艦隊編成 最近の調査に據れは清國艦隊の編成及び司令官の姓名左の如し

▲南北洋水師總統 薩鎭冰(字鼎銘)
▲南洋水師司令官 徐振鵬(字季程)
軍艦鎭世、南琛、建威、建安、保民、登泳、江原、策穆の八艦、辰宿、列、張の四艇を以て編成せらる
▲北洋水師、海圻、海容、海籌、琛琛、飛鷹、通濟の六艦を以て編成せらる
▲廣東水師 伏波、琛航の二艦を以て編成せらる

●膠州灣拋棄論 近頃獨逸に於て膠州灣の前途を悲觀し之を拋棄するの得策なる事を唱ふるもの多く現に南獨逸の最も有力なるフランク、フルテル、ツアイツング新聞の如き盛に同地拋棄論を主張し膠州灣に於て獨逸政府か美麗なる市街を造り港灣を修め船渠、波戶場、鐵道等を設けて以て商業貿易の隆盛を計るとも之によりて利益を受くるものは日本人にして同港貿易增進の報告あるも歸する所日本人の貿易增進に外ならすして獨逸人の商業は依然振はす且つ膠州灣は海軍根據地たる價値なし有事の日は第一に襲擊を被るへし斯の如き港灣の爲に年々巨額を投するは愚も亦甚し寧ろ支那の財政か其買戾しに堪ゆる今日に於て之を支那に賣渡すを以て得策とする旨を結論したりといふ

●最大軍艦進水 世界最大軍艦英國戰艦ドレツト、ノートは新嘉坡開港の紀念日なる二月六日ポーツマウスに於て進水したるが其の龍骨据附式を擧行したる以來近々四箇月間に斯る大艦を竣工せんとは何人も想像せざる所なりしと又同艦には精巧なる燒房を有し士官下士卒の麵包は一切艦內にて製することとなれば英國艦內の糧食規程は多少改正せらるゝに至るべし

●陸相更迭說 海軍大臣との權衡上夙に辭職の念ありし寺內陸相も陸軍の跡始末が海軍の如く捗々しく行はれぬ事情ありて議會閉會後迄の條件附にて一時留任したるも最早大體の政務片附きたるに就き愈々挂冠する事となり其後任としては山縣元帥の子分たる第十二師團長井上中將之に擬せられ居ると云ふ

●其後の過爐銀 三月の決算日に對する銀爐等の處置は日本人は勿論の事、支那人に於ても甚た注意せし所なるか銀爐等も其邊の事情を知る者から大に勵發する所あり銀爐條例に從ひ軍票一圓に對する過爐銀七匁三分二厘の割合を以て立派に決算を終了し幸にして無事關門を通過せしかは單に一般をして安心せしめたるのみならす爲に過爐銀の信用を恢復し會水即ち過爐銀對上海替爲は從來の過爐銀に於ては實に八十兩の高値を呼ひたるに決算後の新過爐銀に於ては六十五兩を以て手にせらるゝに至り甚た其の價値を上け從ふて從來軍票一圓に對する七匁七分四厘の過爐銀は昨今は七匁五分四厘に昇騰せりと云ふ因に三月の決算は今日より七八日以前に在りしなり

●滿洲渡來の苦力 今や已に遼河も開河し船舶の入港と共に滿洲に勞働すべき苦力は每船殆ど滿船の有樣を以て侵入しつゝあるか清國政府に於ても苦力の滿洲出稼を大に獎勵し其獎勵法として先づ關內外鉄道の滊車賃を低減せるを以て各地より滿洲に入込まんとして目下天津に滯在せる者五万人以上にも達し居る由にて鐵道總局は又近頃更に其運賃を低減せるを以て鐵道に由る者益々增加の傾向あり海陸よりして今年は多大の勞働者の滿洲に入るを見んかとなり

●雜貨店の近況 營口の雜貨店中何れが最も多く顧客を吸收しつゝあるかは必ずしも記するの限にあらさるか加藤洋行に付て顧客の近狀を聞くに每日三四人の客人は大抵絕ゆる時なし客人の中には非常に長く居る者あり或は直に歸る者あり時間の不同甚たしければ延人員に換算するに於て頗る面倒を覺ゆれども大略の平均に依りて算出すれば昨今每日の出入顧客の延人員は約百名位なり顧て之を戰爭中の顧客に比較するに敢て甚たしき減少を覺へず但だ戰爭中の顧客の中に於ては假へば滿倉の如き若くは又た戰地の酒保等の如き一人にして非常に大なる買入れを爲す者あり爲に賣上高に於て時に非常の多額に上る事も珍らしからざりしも今日に於ては固より斯の如き上客に見んと欲して見るに能はされば其の日々の賣上金高は到底當時に比較すべくもあらず云々、以上は單に加藤洋行一軒の語る所に過ぎざるも又た以て一般雜貨店の近狀一班を推察するに足るべし因に加藤洋行の戰事中の日々の賣上高は平均千圓位なりしと

●能登丸の出帆 河の解氷して帝國汽船中先登第一に入港せし能登丸は今朝未明、人貨を滿載して營口を出帆せり因に能登丸に依りて來營せし同胞は男女合計五十人なりしなり當時十名と記載せしは誤聞に付き茲に序を以て訂正す

●郵船の第二次牛莊航 郵船會社にては牛莊航路の第一次航船として去る十五日山東丸を出帆せしめたるが更に第二次航船として相摸丸を去る二十八日に神戶を出帆せしめたりといふ

●飯塚工程局の新事業 當地なる飯塚工程局は今回奉天城內の道路修築を一手に引受くることゝ爲り近々其工事に着手する由なるが其請負金額約五十萬圓なりといふ

●商況 日本人側の商況は二三日前の本紙に記載せしが更に清人側の商況に付て聞くも昨今は同樣沈靜なりと云ふ蓋し解氷となれば種々の物品新に輸入するを以て每年物價は幾分の下落を免れさるに本年は昨年の賣殘品澤山ありたれば既に解氷以前より解氷後の輸入品を想像して物價は一体に下落の傾向ありたるに愈々解氷となるや果して種々の輸入品を見るに至りたれば昨今の物價は例年の此節に比較すれば一段下落の地位に在り▲但し遼河の上流も更に解氷するに及べば內地への輸出に依りて供給を減少すると同時に物價も從ふて上騰するに至るべし今日は則ち其の間の季節なれば商況の沈靜は當然の事なりと云ふ▲尙は豆糟は來月十五日頃迄の品は各油房共先賣を以て已に賣り盡し居れば何れも今日に於ては鎭重を守りて急がさるの風あり而して買方に於ても、以上の次第なると同時に目下は其の季節に非れば買大に付て別に急がず於是豆糟は今日の所は其の氣合正にタメヤイの体に見ゆと

●東西南北 ▲クロパトキンは三月二十一日に都に着いた日本ならば何々將軍凱旋とでもいふ所であるが敗軍の將は殘念だがさう書くことが出來ぬ▲清國刑部大臣沈家本と伍廷芳とは國民の惰弱なのは其弊の由て來る所全く早婚に在りといふので早婚禁止の法律を制定するさうぢや結構な御趣意であるが清國自らもモウ一つ反省して生意氣に利權回收とか憲法政治なんかいふとは言はないで國本を培養する所以の道を講ずるが肝要である國民の早熟が國民の健康に害あると共に國家の早熟も亦國家の健康に害あるのである▲日本人を仇とするチヘイといふ露軍の通譯か今回東京に歸つて來て露軍の狀況を語つて居る中にクロパトキンの乘馬は非常の逸物で將軍と共に轡を駢へて行くと常に幕僚か後れて了ふさうぢやクロトパキンか退却に妙を得たる所以である▲露國では今回新に詔勅を以て步兵及ひ砲兵の服役年限を三箇年とし其他の兵課を四箇年とすることに布告されたさうぢやが日本では二年兵役論の盛んなのは面白い對照である▲獨乙汽船談によれば露國滿洲軍前線では食料不足衞生不完全の爲め下士以下各種の病氣に罹り輜重兵の內には一日一食で飢餓に逼る者が五千人もあるさうぢや露國は何故か其狀況を秘密に附して居る

●三縣救恤會の謝狀 曩に我社が東北三縣窮民救恤の義捐金募集を爲すや內外人士の多大なる同情を得て意外の好結果を奏し約五千圓に近き金額に至れるを以て過日大方に告知せる如く正金銀行を經て三縣救恤會に送附し其分配方を依賴せる所三月二十一日附を以て同委員長富田鐵之助氏より左の如く謝狀を寄せられたり

拜啓陳は今般宮城福島岩手三縣凶作地窮民救助費として貴社に於て御募集被下候金四千七百二十二圓三十錢今回御寄贈被成下御厚情千萬難有奉謝候御芳志の次第は乾度縣下窮民一同へ相傳へ候樣取計可申候先は御挨拶旁御禮申上度如斯に御座候早々頓首

明治三十九年三月二十一日

東北三縣救恤會委員長 富田鐵之助

滿洲日報社御中

●滿洲と正金銀行 新任小田切正金銀行取締役か近々來營するに付き世間種々の風說を傳ふる者ある由なるも聞く所に依れば小田切氏の來營は今般正金銀行に於て滿洲の統轄店を營口に開設するに付き其主任として來營するものなりと

●與倉長官の歸營期 與倉長官の營口歸任は遲くも一週間の中に在るべしと云ふ

●瀬川領事轉任の誤傳 近來頻に瀬川領事の轉任を風說する者あるも全く根も葉も無き想像說なりと云ふ

投書かご

▲或女の方に申し上ぐる少し橫取の氣味があるかも知れぬが貴女は若し家婢奉公の希望があるなら私の方へ來て吳るゝ譯に行かんだらうか實は男一人で家事向きに每日閉口極めて居るのであるから一つ自分……男一疋を助けると思つて來て吳るゝ譯に行かんだらうか貴女の望みは大抵は承知が出來やうと思ふのである(浦山生)▲或女とやら貴公は一體素性が何んだ御注文通りの醜婦だから眞逆臼首の成上りではあるまいが左ればとて此の口へ獨身で出し掛けて來たといふ旨意も分り兼ぬるぢや無いかそれに少々望みといふは何んだ給料の事か若しくば畢竟女房にして吳るゝ人ならといふ希望か明白に言つた方がよい醜婦は少々困まるが併し營口では女は左から右だどうでもへどきがつく率直に申出られたなら俺が一つ心配をして進せう(世話燒男)▲湯淺征伐生よ緊揮一番しつかりやり給へ殿りは僕が引受けるよ其れからモウ一つより以上の大々的問題は玉代低減だ此奴一番甚だしい遊冶郞群團結して未拂の御方は新聞紙を以て請求云々に反抗の態度を取てはドーダ(紅裙隊征伐生)

●鹿爪錄 校正の難は落葉を拾ふようなもので從て拾へは從つて落つと誰れかゞ言つたのは校正難を最も適切に言ひ表はしたる好比喩である▲校正の六ツクしい事は少しく新聞にでも從事した者の均しく經驗する所であつて如何に多大の注意を拂ふとも其全然遺漏の無いといふことを期するとは先づ不可能と謂つてもよい自分の書いたものを自分が校正しても尙見落しがある▲故櫻痴居士なども校正の誤りの多いことに就ては頗る閉口して居たと見えて何かの序に筆を極めてコボして居たことがある併し居士が校正の間違を頻りにコボしたといふのは其粗租の爲めで無くて校正の際校正者が自分の獨斷で文字を改竄するのでそれを非常に攻擊して居たのである▲校正は原稿通りに校正するのが校正の原則である併し間違の多い原稿はどうしても之を直さずには置けぬ場合もあるさういふ場合には除外例として多少の改竄も差閊無い否寧ろ必要であらうが疑似の間に在るものなどは成るべく原稿通りにして置くのがよい是れは儻に原稿の間違であると信じて居る事でも却て自分の間違であることが少くないのであるから疑似の間に在るものは尙更である(口口生)

詣迷眞山海雲寺(寺祀舉母廟) 秦灝年
衣香扇影自風流拂面紅塵膩似油恰喜吟朋乂相遇靑山一笑數詩籌

和韻 岩城黃雨
日駿官風化影流仙人紛省似流油與君妨逝社塵畔聖廟祠前會韻籌

仝題 秦灝年
海雲寺外起香塵日馬紅纓色色新笑殺少年無賴甚不看聖會只看人

和韻 岩城黃雨
崔峯攀來絕世塵翠觀今日祭壇新海雲寺外人如堵不識東西南北人

讀秦灝年先生詩
試欲出門天未晴雲花銀色飾春城新聞紙上逢同志窓下推敲氣自淸

敬和岩城黃雨先生詩
春光一到馬蹄輕雲外訪君幾里程飛雪誘花花未發高歌傑作養吟情

敬和李星閣先生詩
飛雪不多忽快晴南山北水見春情風流名士是余友散策尋梅詩傑橫

以上三藝、率爾操解、不及原韻者遠甚、誠不可以比高明、但同道之事、不妨獻醜、伏請大雅重加筆削某幸甚、以致名士各位

在新民府後邊街 犀陽謹

菫 梅の里人

朝日かげ露さへ匂ふ菫草 蝶も來れり色香慕へて
紅の夕陽をうけしむらさきの 花をしとねに胡蝶眠むれり
一束を摘みて手向けむ亡き妹が 御靈やすめる浮き墓前に

▲上行車時刻表
車站名 午前點分 到午點分
新民屯至溝邦子 上六、〇〇 上九、五七
營口至山海關 上八、二〇 下六、〇〇

▲下行車時刻表
車站名 開午點分 到午點分
北京至山海關 上八、〇〇 下六、二〇
北京至天津 上一一、二〇 下五、四一

稅關手續
一、船舶輸出入荷物取扱
一、荷物保管

來る四月一日の日曜日より今後每日曜日の禮拜を午前

製作

川鐵

天氣豫報 營口地方 自三十日午後六時至卅一日午後六時

小說

新作小說 **おとし風**　德田秋聲

（二十五）

此の間際になツて、合田が何んで光の謂ふことを聞くもので無い。聲まで尖らせて、

「可けません、可けません。それで無くとも、もう少し後れてゐます。」

一体光は、此の合田が蟲が好かぬ。第一指圖顔に、左や右うしふのが妙に氣に適はなくてならぬ。それで半ば反抗心に煽られて、

「でも、私、用があるのだから爲方が無いわ。」平常に似合はぬ強い權幕で、人と人との間を抜けて、さつ〳〵と自分の部屋へと押通るのであツた。

合田よりは、祖父樣が其の權幕に驚いた。そして慌てゝ光の後に從いて行ツた。

「光、其方は何うしたといふんか。何のん用か知らんが、大槪のことなら棄て置いて出掛けるが可いぞ。」

實のところ格別の用も無いのである。光は弱ツて、

「え…………」と謂ツたが、其の後の言が出ぬ。幸而の事で「鳥渡御先祖の方々にお別をして參らうと思ツて…………」

と機を繕ツた。それと知らぬから、寛齊老人はさも滿足したやうに、

「然うか。疾くせい。」

と能くも其へ氣が付いたと謂はぬばかり。此くて光は、佛間へ通ツた、ざツと禮拜を遂げた。それから祖父樣に向ツて、

「ではお祖父樣さん、私もう參ツてよ。何うぞお體を大事に遊ばして…………」

「おゝ、其方も道中を氣を付けての、達者で……………」と謂ツたが、後は聲が曇ツて、光の耳には聞えなかツた。やがてまた鼻聲で、

「東京のお邸へ行ツてもの、心を正しく有ツて居れ。何樣なことがあツても、卑しい心を起してはならんぞ。此の祖父の面目にも關はるのでの。」

「はい、何うか、お祖父さん御病氣におなんなさらないやうにね…………」

「解ツた解ツた。此の祖父のことは心配せんが可い。決して心配することは無いぞ。」

光は、泣くまいと思ツても泣かずに居られなかツた。幾ら耐えても、涙が頬に傳はツて來る。其の間にも、もしや健三が來て呉れはせぬかと心待に待ツてゐた。雖然炎天に待ちに待ツた夕立雲が流れて了ツたやうに、健三は遂に來なかツた。何うかすると日に三度も來て行く健三が今日に限ツて來ない。最早逢へる望は全く斷えた！

玄關の方で、合田がまたも喚き出した。

「何うしたんです、尙だ用が濟まんのですか。此樣なことでは、到底今日の間に合はんですな。」

「間に合はなくツて幸だ！」何うかして今日一日延ばしたい。光は、此う思ツてゐるが、祖父樣が其を許さぬ。寛齊老人は、何處までも正直に

「さ、光、出掛けるが可い出掛けるが、可いのう。何時まで此うしてゐても際限が無い。何うしても今日の六時の滊車で發足なければならんのださうぢやから！」

光は、爲方なしに立起ツた。そして屠牛場へ連れられる牛のやうに、出來るだけ遲々と玄關まで來た。而ると合田は、飛付くやうに光の手を取ツて人力車に乘せた。まるで一種の誘拐だ！

光は、人力車に乘ツて、前へ一ツの大きな荷物まで抱えさせられた。もう下りやうにも下りられない。それでも尙だ何か暇取らせる口實は無いかと考へてゐた。

「少しお腹が空いたから御飯を…………　いや、少しお腹が痛い！」

此うも謂はうか、那如も謂はうかと思案を回らしてゐるうちに、合田はすばしこく人力車に乘ツて了ツた。そして大きな聲で、

「おい、車夫。賃金を增すから急げるだけ急いで呉れ！」

そこで一臺三人掛、總勢六人の車夫は、勢好く應えた。

「旦那働いて曳れば大丈夫でございまさ。」

其の聲と一所に、人力車の梶棒が上ツた。そらよと車夫は聲を掛合ツて、人力車はぐるりと廻ツて玄關に後を向けた。

光は、籠に入れられた小鳥も同樣、最早幾らぢたばたしても逃げられない。運命の神の指圖のまゝに行くところまで行かなければならぬ。

門を出て少時してから、光はふと振向いて見ると、祖父樣は門の外まで見送りに出て居られた。氣の故か、其の影が何んとなく薄く見えた。光は、幾度も後を振向いて見た。

やがて人力車は村の往來へ出た。祖父樣の姿はもう見えなくなツた。光は何んだか後へ心を引付けられた。所詮祖父樣のことが氣に懸ツてならぬのであツた。

左や右う思ツてゐるうちに、人力車は何時か村を出離れて了ツた。それでも健三に逢はれなかツた。光は何うしても健三に逢はれぬのであらう。

●骨董錄　臺灣斗六の鐵國山は過日の大地震の爲めに大龜裂を生じたさうぢや店、東京の貴族院でも鐵國案に龜裂を生ぜしめた爲め衆議院に大地震があつたさうだ。鐵國山は地震の爲めに龜裂を生じ鉄國案は龜裂の爲めに地震を起した。して見ると山案兩者の間原因結果があべこべになつて居るが。御幣擔ぎの眼から見たら此の間何等かの因緣でもありさうに思ふだらう。若しも曲亭馬琴でも居たら名詮自性だと謂ふに違ひない、併し過日來地震でびく〳〵して居る東京人は斯んな人造地震で濟めば結構だと悅んで居るか何ふだか（著然）

●日英結婚の名士　先頃東京在住のオードレー僧正か倫敦タイムスに寄書して英國婦人の日本男子に結婚すへき旨を警告したる以來日本男子の誠實心に對する是非の論評は一時同上紙に花を咲かせたるか近頃同國のテレマク、シンクレア卿は日英ガゼツト紙上に於てオードレー僧正の警告に對し余の實見は非常に幸福なるものに富むとて左の如き互に結婚せる幸福なる兩國名士夫妻の姓名を掲けたり

三宮男爵同夫人、陸奧伯爵夫人（誤聞か、）青木子爵同夫人（夫人は獨人、）西班牙公使赤羽四郎氏同夫人、前英國總領事大越成德氏同夫人、工學博士高峰讓吉氏同夫人、理學藥學博士長井長義同夫人、尾崎東京市長同夫人、又英人の日本夫人を娶りたる名士としては故エドウヰン、アーノールド氏（亞細亞の光の著者）同夫人、キャピテン、ブリンクレー（メールの記者倫敦タイムス通信員）同夫人、現在駐清英國公使アーネスト、サトー卿同夫人其他を掲け右は孰れも非常に幸福なる結婚とて寧ろ羨望すへき程のものなりと述へ殊に東京市長の結婚に至つてはオードレー僧正自身か其結婚式を遂行したる至幸の結婚ならすやと附記し居れりと

廣告

告示

三月廿二日第四回懸賞捕鼠抽籤執行したる結果當籤番號左の如し

一、當籤者賞金受領に付左の通り心得可し

一、當籤者は四月五日迄に衛生局に至り當籤札と引替へ現金を受領す可し

二、四月五日を經過するも尙賞金受領の爲め衛生局に至らさるものは其當籤効力は消滅す

三、賞金額

一等 銀五十圓　二等 銀十圓
三等 銀二圓　四等 銀一圓

三月廿二日第四同抽籤懸賞捕鼠號章程列左

一、當籤者於四月初五日以前持原籤赴衛生局領賞過期其原籤即消廢無用

二、賞銀額

一等 銀五十圓　二等 銀十圓
三等 銀二圓　四等 銀一圓

第四回捕鼠抽籤當撰番號

一等　二等　三等

一五九三
二三四〇 二四七五 一七〇七 一四四一 一七二六
二三四七 二三一七 一四四七 一四五〇 二二八九
二〇九四 一七一三 一三八三 二〇八五 二二一〇
二二九三 一八九七 一六五七 一七六八 一九九〇
二一九五 二四二三 一九三六 二三九三 一七二〇
二五一一 一三二八 一九〇九 二一四二 一九二〇
二六五五 一七〇五 一三四五 一七四四 一二八三

四等

二五一七 二〇八三 二一六三 二二〇五 二四〇九
一一九八 二四二二 二二八〇 一四〇〇 二五九九
二六〇八 二一三六 二九二八 二一八一 一四九二
二一八三 二五四二 一四七三 一三九二 二二八四
二四六八 一六六六 二九九一 一〇〇五 一五三八
二一〇五 一六一九 一七四九 二九二三 一一〇五
一三六〇 二二四九 二二二三 一六二二 一六四八
二六〇二 二二〇七 二四八六 一九八〇 一五七五
二六五三 一七四一 二五〇三 二四五八 二二九七

東營口郵便局東隣
島田洋服店
新民屯停車場前
同支店

法律事務所の開始

生儀前ニ判事并ニ地方法院長等の官職に歷任し及び辨護士の職務を行ひしこと多年今般民刑訴訟の代理刑事被告事件の辨護訴訟事件の鑑定契約書起案法律顧問等總て法律に關する諸般業務の依賴に應ず

營口永世街金城館南隣り
小林法律事務所
從七位勳六等　小林一生

○但し應接時間は午後四時限り夜分の面會は絕對に謝絕す

廣告

齒の衛生治療は一日も等閑に附すへからす然るに當營口に良齒科醫無きは予輩の最も遺憾とする所なるを以て今回二三有志相謀り目下**天津佛租界**に於て**開業**し**内外人の信用を博**せる**齒科醫田添豐三君の出張治療**を乞へるに快諾を得來月上旬より本埠マンヂウリヤ、ヘウスに於て約三週間許治療に從事せらるゝを以て齒患に艱やまるゝ諸君及び齒の衛生を重んせらるゝ諸君は此好機を逸せず續々治療を受けられんとを望む尙同君來營の期日は重ねて紙上に廣告すべし

三月三十日
營口有志者白

大阪商船會社 荷客取扱所
船舶代理店 船舶貸借仲立
内外 水陸輸送貨物仲次 輸出入稅關手續 諸品委托賣買 解船人夫運搬請負 倉庫業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候滊船御乘船之御方樣は御一報次第切符持參仕候尙御手廻り貨物持運ひ等當店送迎組ニ御用仰付被下候へゝ迅速確實ニ御取扱可申上候

西北街
德重洋行

北京
東單牌樓大街路西
扶桑旅館
客室清潔　料理鮮新

聲明丟失滙票

啓者於清歷正月二十二日有營口永同和在阿什河眞和順昌匯票兩張計該號昌字十七號永記名下平銀九仟參百五拾兩整又拾八號功記名下平銀二千六百七十九兩整均係二月二十五日准期營口付銀此票係於正月二十二日由阿着合盛信局帶營不料路中丟失今已向該營分號掛號說明此二票無論失落何人之手作爲廢紙望各中外官商切勿收用特此登報以爲聲明

清歷二月二十四日
永同和主人啓

森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄（取扱主任藥劑士大道しげ子）
院主　森　鐵
醫長　鈴木昌平
營口永世街（電一五五番）

三月三十一日より三日間春季大祭典執行仕候間繰合御參拜相成度此段廣告候也
永世街二本町
皇大神宮社務所

會席料理
營口警務課前南に入る
三日月

御旅館　豐陽館
上海（電話一〇六番）
日本郵船會社荷客取扱
歐米滊船乘船取扱
館主　米田藤吉

料理
滿月
滿月支店

和洋會席御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又割烹等は特に割引大勉強仕候

營口永世街一二本町
日本館（電話百三十）
各位樣

料理部開業披露

弊館是迄旅館專業に御座候處今般新に料理部を開設し聊か紳士諸君の御引立に報ひんと存候就て座敷向き等も凡て改築仕日本式の粹を抜き藝妓仲居も弊店付として內地より二十五名計り呼寄せ特に料理は東京有名の厨士を聘し材料に乏しき當地にては不可得珍味佳肴を供すべく一切の準備相整愈ゝ本日より安直を旨とし開業仕候間何卒賑々敷御來遊の程偏に奉希上候

追而料理部開業と共に旅舘部にも改良を施し御客樣の御便利御計可申候間不相變御引立の程願上候

旅館　料理
營口第一ホテル
第一樓（電話八四）

鐵嶺　西門外大通
御旅館　御料理
福屋

雜貨
醬油
木炭
すし米
清酒
大樽
半樽

營口西北街
阪神組

CARTRIDGES.

We have just received a large assortment of Sporting Cartridges for 8, 10 & 12 bore Guns which we are prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

獵銃彈新荷着
第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着
廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候
但貸賣一切御斷申候
ブッシ商會

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

浅田飴
あさだあめ

肺病肺炎喘息急傷風痰咳小兒風疹病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣
永世街 東瀛大藥房
房主 藥劑師中馬能造

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137　電話一三七

諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
(電話一三六番)

發賣 材木 標子 木板
一 鹽川商會

遼陽小西門内
鹽川商會●建築

外に用材北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘
電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

醇良自釀清酒

札幌ビール
朝日ビール
口付莨大和
酢醬油瓶詰樽詰
菓子鑵詰色々
洋酒類
右取次販賣

牛荘港東營口
宅合名會社
營口支店

大日本東京
本山崎帝國堂薬房處修舗

腦丸
天授者天下多多有咳嗽藥中之冠也たんせきねつさましの一切の妙藥

天授
腦丸者天下唯一之腦病靈藥也腦病の名藥にして他に類なし

大清國
營口大街(永世街二本町)
藥司洋行 淺野爲三郎
福壽堂 藥劑士 大菊房
有名靈藥 醫械材料 總發賣處
總批發處

大連市信濃町卅九號地
旅人宿 東館
特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

廣告
組合規約追加
組合員にして其内外を問はず妨害又は損害を加へられたる時は其旨事務所に届出べし此の場合に於て事務所は直に役員の審議に付し果して届出に相違なきときは之れを新聞紙上に廣告すると同時に組合一般に報告す組合員は其者と取引をなす事を得ず
右今般組合總會の決議に因り追加條項として相加へ候條及廣告候也
年月日
營口材木商組合

御手輕料理
一釜飯御一人前 銀五十錢
一湯豆腐一鍋壺 銀二十五錢
一突出しの外は御注文なければ差上不申候
月日
營口元神廟街二〇九號
翁亭

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

石材、碎石
並に自家製造
瓦、煉瓦
廉價販賣
營口元神廟街四十號第二號
順吉洋行

弊店の特色は第一厨夫の腕
第二は材料の精選
第三は輕便眞のオアシス

美味安價西洋料理
永世街五十二號鶴の湯東隣
牛荘亭

料理は普通上等特等の三種に分迅速に調理申べく候へども何御好に應じて如何樣にても調理致し候又御通行の際御休憩御一服被下なば喜で御迎申候付ては諸洋酒コップ賣シガー壹本賣紅茶コーアコーヒー等御好に應候

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎
(電話百七十八番)

即席和洋料理 東京樓支店
(電話四十四番)
西洋料理仕出し御需に應ず

質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口南永世街憲兵三十六號
北斗洋行質屋部

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯清潔
接待優遇懇切
開放全時一開業
奉天小西門外ナ利路北

御旅館
天津
芙蓉館
駐屯軍御用
並西洋料理

代論

元太祖開拓西北邊域論

龍門李國鈞（京師譯學館文學研究科）

自古開國兵威之盛。以元爲最。拓地之廣。亦以元爲最。蓋元開國之。有太祖以創于前。有憲宗以繼于後。之三君者。其勇猛之略。神聖之資。後先同揆。而又有速不台拔都旭烈兀曷思麥里等之驍勇絕倫以爲之將。宜其開拓之地。幾括亞洲全部與歐洲之東南部。而歐洲各國。至今猶以黃禍爲戒也。然元代版圖之廣。實發軔于太祖。太祖兵威之盛。在於開拓西北邊境。此攷古者之所宜留意也。攷太祖之用兵西北也。先平定四鄰以爲立國之根本。蓋四鄰諸國。以韃靼克烈乃蠻爲最强。而克烈在其南境。乃蠻接其西境。韃靼據其北境。不先定之。則腹背受敵。國且不保何有遠征。故太祖用兵。先平泰赤烏。繼滅克烈。破乃蠻。定韃靼。三部既平。則根本固而無後患矣。此太祖平定四隣。以爲開拓西北之始基也。自是而後。西夏降。燕京附。屬地既多。於是始有將兵西征之舉。夫黑契丹與蒙古屬地鄰近。花剌子模又與黑契丹鄰近。故出師北征。必先併此二國。二國併則西北一隅。在掌握中矣。然勞師遠征。兵家所忌。且黑契丹與花剌子模大國也。土地之廣。人民之衆。滅之夫豈易易。乃黑契丹自屈出律繼之後。人心離散。國勢不振。而太祖以雄武之資。遣其將哲伯將兵西指。以弱當强。以整擊散。勝之必矣。故哲伯一舉而破其兵。而黑契丹爲蒙古有。夫花剌子模。所恃以爲聲援者黑契丹也。黑契丹既爲蒙古有。則花剌子模失其藩籬。土地雖廣。人民雖衆。亦無所恃。况瑪哈默又不聽其部將之言。爲老師據險之計。使太祖得以發兵深入。所向皆捷。由是而據布哈爾抵花剌散。而瑪哈默成擒矣。此太祖平定黑契丹花剌子模二國。以爲開拓西北之根本也。且夫瑪哈默既破。則花剌子模西北可以長驅直進。而無後顧之憂。故太祖此時。又遣朮赤直擣西海及裏海之北。而與哲伯等聯爲一氣。故出軍數年。南平波斯北併欽察。而且直抵斡羅斯。敗其兵下土尼伯爾河。入哥力密。馳驅縱橫。銳不可遏。而西北之境。如波蘭獨逸匈牙利。皆歸統屬矣。此太祖平定波蘭獨逸匈牙利。而爲開拓西北之止境也。要而論之。太祖開拓西北。始于乃蠻諸部。其次則黑契丹花剌子模諸部。其次則欽察諸部。蓋其用兵之際。自東而西。自南而北。自東南而西北。以今攷之。東南至日本海。西北抵俄羅斯。南連波斯北逾西北利亞。皆其所開拓之境。其後以欽察諸國封長子朮赤。以途魯吉阿爾魯之地。封次子察哈爾台。吁盛矣。夫太祖開國之初。不過一小部落之酋長耳。乃十餘年間。所滅者數十國。所殺者數百萬。彼黑契丹花剌子模。西部之大國也。然不數年而殄滅。欽察斡羅斯北部之大國也。然不數年而破亾。其兵威如此。宜歐洲各國至今終不忘乎黃禍也。

北京電報

●**中俄協商依然延宕**　中俄協商刻俄公使波君稱病荏苒移日因之未有所決定並聞該欽使密派人於北滿洲與俄國武員相謀測繪其礦山云

●**商部電催測繪金鑛**　此次商部電致吉林將軍測繪琿春地方金鑛催速開辦該鑛以防制外人野望云云　（以上西三月二十九日發）

東京電報

●**栗野欽使赴任之期**　駐法日大使粟野君定於西四月四日啓程出東京就赴任之途云

●**臺灣總督更任有期**　臺灣總督更任之議久未見之實行刻詮選已擧定於西四月中旬可見更任云

●**統監府擧行開廳式**　韓國統監府於西本月二十八日擧行開廳式其盛儀蓋該國前代所未聞云

●**高島煤坑俄然爆發**　西三月二十八日在九洲高島煤坑俄然爆發死者計二百五十六名云　（以上西三月二十九日發）

倫敦電報

●**英國撤兵之先聲**　英國陸相荷爾典氏於議會演說云英國擬撤駐中國第一聯隊之後即不復留兵隊於威海衛云按駐中國第一聯隊即現駐在威海衛之隊也　（西三月二十八日發）

中外要聞

●**中美因謠傳之關係**　駐京美使柔克義君上年向外部聲明擬將庚子賠欵一千數百萬兩歸還于我國適美國因我國有謠傳美國議院某君遂有提倡用此項賠欵築造兵船之議不以柔使所擬爲然此事電傳于中國竟有美使再向中國索取賠欵之風傳世人信以爲寔頗不喜美國然此說頗屬可疑日來本館加意訪查始知此說全係外間捏詞毫無實據蓋美國夙表同情于我國者豈有此無理舉動耶

●**俄國不靖**　據彼得堡亟瓦爾索消息云俄國猶有工匠罷業與農民滋擾之風潮將有蔓延全國之兆矣

●**端戴考察德國製造**　中國出洋大臣端戴兩欽使爲考察製造業起見現赴柳爾地方聞於西四月四日再回柏靈云

●**海軍技師閱歷**　日本海軍技師木村駿吉君剏無綫電話茲得其閱歷之始末該技師初在明治二三年較意國媽爾克尼氏所剏造之無綫電信則更有加倍之發見者現在日政府海軍部所應用之無綫電信雖襲媽爾克尼氏剏造以前之故智而究不用媽氏之技術此實足爲木村君絕世之名譽乃此次復有剏造之無綫電話事爲斯道稱揚不已但其剏造緣由現尚爲軍要所關必不肯顯露其機然此於現在歐美各國所研究者其規模之遠大造詣之精純固不可以同日而語聞君係芥舟先生次男現任海軍大佐木村浩吉君乃爲君之長兄云

●**英國議員贊日英同盟**　據英京電云上院議員獵邦氏在議院宣言政府已允納日英盟約我國務須實行至與一雄國如日本者締盟豈不大有榮施耶云云

●**俄將始吐眞言**　俄國李尼維舒將軍在聖彼得堡向一新聞記者痛論斯士斯賽爾將軍旅順乞降之非且論俄國情急戰鬥準備運輸船不得大力由是易地以思而賞贊日本兵士剛男教育訓練之周到謂俄兵教育之不及遠矣

●**景德開放之原因**　聞南洋大臣欲將江西之景德鎭自行開放爲商埠因該鎭爲中國産磁之地將來恐不免外人要索故莫若自行開放以爲捷足先登之計

●**德使爲上海購地交涉**　德公使有照會外部大致云南洋大臣現飭滬道嗣後洋人不得在上海租界外購置房地並飭不與稅契等情按此事實與通商條約不合請貴部即飭南洋大臣妥爲籌劃爲要云云

●**中俄協商近聞**　日俄戰時俄人占領營口稅關共徵有二十萬之譜聞清國現向俄使商議欲令其如數交還中國云云聞唐大臣近日屢次照催俄公使從速將中俄條約議定俄人在吉林黑龍江邊地以及新疆庫倫等處所行之羌帖現在聞欲以華俄銀行鈔票易回

●**重武一說**　聞將來各省武備事宜歸各提督獨判不歸巡撫轄制並不以兵部尙書銜加給督撫蓋欲分專文武之權而除重文輕武之意

雜報

●**統領親弔亡弁**　護衛河北鐵路巡警營兵隊乃統領朱君子樵總轄昨聞該營有一哨弁王姓係關內人嘗規素嫻職務頗愼詎於前日染病醫藥罔效遽然長逝因謀櫬歸里而其同僚及衆兵等咸備奠禮餞靈是夕統領朱君躬乘素車白馬由田庄臺親往弔之觀者乃見其奠醊盡禮營兵俱爲感動云

●**海怪洶潮**　前日南風威猛汐漲狂瀾聞河港北岸四合車棧門前一望雪浪似疊銀山衆人群向眺望詎止當觀潮之際忽訝一物衝濤冒出止露半體色若嬰孩赤膚仍於烟波際潛伏不移時上時下俗謂爲海怪其果可信乎

●**小竊發覺**　今晨果木市有一賣糖者被盜竊去現錢一串失者知之當時追至恒利德門口將盜捉獲其錢尙在袖中當時將錢翻出盜不認其誣一人爭論互相毆打幸有來往行人勸解多時盜始逃竄而去云

●**繼武有人**　翠禧堂內寶銀校書本埠花叢中歌舞之特色也而其養女貴紅得衣鉢眞傳每當酣唱淋漓芬流口角一時風流才士咸嘖嘖稱羨謂其後先濟美云

笑林

●**當褲**　某鴉片大王有日才日騙其妻衣物以接濟黑糧妻亦無如何也近因鴉片癮歸官賣吸烟者須穿背褡持木牌及加以三等廢人字樣烟王之妻已有所聞因笑謂之曰三等廢人此後須穿背褡担木牌買烟鬧爾羞死不羞死烟王正苦絕糧計上心頭因作色言曰爾亦知皇帝特別加恩烟精乎賞穿背心與賞穿黃馬掛無異木牌高樹與宮保銜牌無異二等廢人猶三等子爵三等男爵之榮貴耳妻曰吾聞有公侯伯子男爵未聞有人爵烟王曰大爵都有漫講人爵孟子不云乎有天爵者有人爵者吾將爲人爵爺爺爾亦有太太誥封矣妻不覺又中其騙而以褲付之質烟

●**扛轎**　有甲乙丙丁四人同打牌甲等三人相約以騙亞丁（俗稱爲擡轎也）事後丁覺之責甲等曰我與若素相好何遽用扛轎手段以相騙也甲曰子無怒方今監司大員被巡警所拘不用轎吾三人扛你是充三跑轎架子其勝於監司大員多矣何責爲丁雖知其黠而詭然無以對

NEWCHWANG, SATURDAY, MARCH 31, 1906.

A Kindness That Is Not Wasted.—(Part III.)

Can the gifted Editor of the "China Review" mean the vicinity of Jehol by "outside the wall"? "The people there are turbulent and the hills are a retreat for robbers anp bad characters." So is quoted the opinion of Tien Chieh, the Military Governor of Jehol in the issue of another esteemed Senior the "Peking and Tientsin Times" on the 28th inst. Jehol seems to be the most dangerous locality to send rifles and ammunition to. But the resourceful Editor, in hitting upon a most likely destination, has forgotten to prove that the arms seized were intended for there.

Again, "Japanese agents" is in itself too vague to assign the party they may be acting for.

The version of the case in question offered by another esteemed Senior the "China Times" in its issue on the 16th inst. reads: "It appears that the arms were not secretly imported by the prisoners, as reported, but were originally ordered by the Viceroy for his troops. The rifles were returned to the Japanese vendors by H. E., for they were not manufactured according to sample. The Japanese then sent the rifles to Peking, expecting to find a market there. The arrest by the police followed." Accepting such was truly the case, the culpable indiscretion of the vendor at a time when disquieting rumours were rife with or without cause for alarm, is to be severely denounced.

The Editor's prophesy on the outcome made 2 days ahead has in substance come true, for once. In his editorial under notice, he has said. "We half expect that the Chinese Government will be forced (?) to declare that the arms were ordered by them and will have to apologize (?) for the arrest of the Japanese smuggler!" However, in thus insinuating at a hand of the Japanese Government in the affair, he has taken no trouble whatever in establishing that the man was an emissary of the Government with the sinister commission.

This is bad enough as it is for the ground he has sounded the alarm upon.

But when he goes to the length of omitting to point out what alluring bait could tempt Japan to raise a popular disturbance inside or outside the wall in Chihli then at that particular juncture, the incoherent cry sounds weird as a crank's ravings. When the evacuation of the Japanese Armies from Manchuria had been nearly completed. When the Russo-Chinese Conference was in session at Peking. And when, as Dame Rumour had it, Russia had brought forth the Lienchow, Shanghai, and Nanchang episodes so far down in the south as a pretext for suspending the withdrawal of Russian troops in Northern Manchuria from Kirin and Heilungkiang. As if Japan had gone into league with Russia to create a good, sound excuse for breaking the latter's sacred pledge on the evacuation.

On the other hand, if he meant to say "Japanese agents" in Russian employ, what on earth made him ever enter into the present relations "between China and Japan," in forecasting how the 'rifle' case would end?

The whole 'yarn' cannot hold water on the bare face of it. Was it another fit of his monomania? Then, well may they shake their heads as to his sanity.

Mr. Bergendahl, General Manager of the Russo-Chinese Bank, Shanghai, arrived here by sea on a business visit last Thursday, and is staying at the "Manchuria."

Messrs. Bandinel and Co. received yesterday the first consignment of general cargo by the "Victoria," Chinese, from Hongkong *via* Chefoo and the "Santomaru," Japanese, from Kobe *via* Tientsin. These two steamers were the only arrivals during the day reported before 8 last evening.

We are pleased to announce that Dr. T. Tazoe, the Tientsin dentist in the French Concession with a wide cosmopolitan practice, has accepted an invitation from his Newchwang friends and is coming to the port early in April for some 3 weeks' sojourn at the "Manchuria House," to administer to the needs of the local sufferers.

Yesterday's Tokyo intelligence informs us that the German Admiral in command of the Far Eastern Fleet is soon expected at Yokohama from Shanghai on board the flagship "Furst von Bismarck." Viscount Aoki, the Japanese Ambassador to Washington leave Tokyo for his post to-day. Japan will establish before long a Consulate-General at Mukden and a Consulate at Antung.

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 料理 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號（正金銀行西三程）

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號 店主 麻田久二（電話五一）

旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

東京 生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館 料理 金城ホテル 永世街百六十六號 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署 御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

ざるそば 第一更科 營口元神廟街 ざるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 叮嚀専一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 並ニ溫泉 一力 營口永世街 店主 堀万助 毎日新湯

和洋 料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号

和洋 料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案內

旅館 料理業 營口ホテル支店 主任 井上源吉

御料理 會席 菊水館 主任 朝枝園揵

旅館 西洋料理館 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館 料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理 會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御汁文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 御料理 主任 西野治三郎

御料理 會席 來々亭 主任 石田清

一和洋御料理 遼東館

遼陽城內東街

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天旅館料理屋案內

旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話　號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側（電話　號）

旅館料理店 日の出樓 奉天小西門通（元紀葉舘跡） 樓主 大瀬七造 溫泉付大勉强キレーデヲイシヒ

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側（電話十七號） 館主 入江有男（電話　號）

旅館料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話　號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行
奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すべき樣に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上

旅館 御料理 高砂館本店 奉天十間房第十五號 奉高館 高砂館支店 奉天城外廿四 店主 宇木智平

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話　號） 主任 藤島初野

御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 勉强館 奉天小西關外北長發園隣

撫順炭大販賣

多少に不拘御用命被仰付度願上候

金城館 販賣部

特別室落成 營口金城ホテル 旅館部

會席御料理 金城館

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

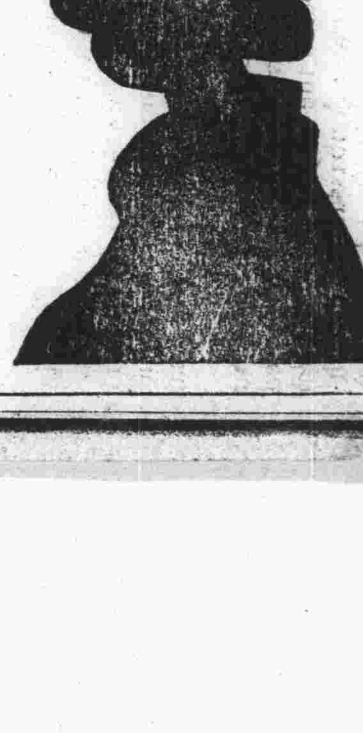
一關內外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號 大清通運公司 營口支店

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

新着の御知らせ

東京より
蜂印香竄葡萄酒、羊羹、味付海苔、旅行用トランク、手提鞄、御婦人足袋、謄寫版、眞筆版、コツピープレス等
其他
雛立印白酒、寄木細工、漆器、陶器、金屏風等夫れ〲産地より着荷仕り候
新到
各種皮包、皮箱、文具格、畫掛、畫漆茶机、畫漆茶盤、金漆畫屏、金漆鏡臺、眞筆版、謄寫版、極上麝香水、蜂牌香竄葡萄酒、
營口 加藤洋行（電話八十番）



弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種
工
營口元神廟前
飯塚工程局材料部
（電話百三十五番）

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干瓢 ○石灰
喜久洋行
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也
永世街八十號（電話百五十二番）

大連 東洋ホテル
大連鐵道停塲附近民政署前兒玉町

發賣 標子 木板 料木
營口青堆子
清水寧木局
（電話九十四番）

故沖禎介

追悼の爲め江湖諸賢より玉はりたる詩歌書畫を編集上梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度くと存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也
一、紙判は美濃紙大
一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、沖莊藏在沖繩縣那覇地方裁判所官舍
一、御問合の件あらば左に
新民府奈良崎八郎
營口瀛華學院上野政則
大清通運公司安田貞藏
同志友人 敬白

爲替券無効廣告

清曆本年正月二十二日弊號は在阿什河和順昌に於て本年二月二十五日營口にて支拂ふべき爲替券即該號昌字十七號永記名下銀五千三百五十兩全十八號功記名下銀二千六百七十五兩の二通を買受け去る二十二日阿什河より合盛信局に托し送附の途中之を紛失せり依て直に該營口分號へ此由を説明し以后該券發見するとも無効に御坐候間此段廣告候也
營口 永同和主人啓